

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

新2002年9月28日

26号

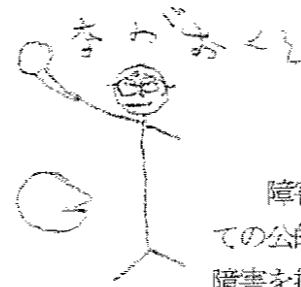
「地域で生きる障害者を支える会」 編

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL045-562-3600

FAX045-562-5991



福田次郎

暖かい係わりの広がりを

障害を持つ方との係りの中で、一番ケアが必要とされている人に対しての公的な援助が極めて少ないということをいつも疑問に思っています。障害を持つお子さんをお持ちのご家族の方のご苦勞は学校を卒業してもそれでおしまいになるということではなく、卒業した後もそのご苦勞は続いています。

このような現状の中でもご家族の方がいつも頑張っていることに頭の下がる思いがします。そしてその方たちをいつも影になり日向になって支えてくださっている活動ホームやグループホームの職員をはじめボランティアの方たちにも、卒業生を送り出す立場として感謝しています。もっともっと障害を持つ方に対する暖かい係わりが広がるように、私自身も教員という立場から考えていきたいと思ひます。これからもどうぞ皆さんよろしくお願ひいたします。

小堀 正巳

ロシアフォークアンサンブル



「チャリティー公演」を目前に

急に秋が深まりました。朝夕の冷気のなかに、よみがえる花々の色が鮮やかです。会員の皆様は、お元気でお過ごしでしょうか。

昨年の丁度今ごろ、私たちの作り上げたグループホーム「よつばホーム」が出発しました。速くも1年を経過し、当初とても心配されたさまざまなことも、多くの皆様のご支援と、職員や、誰よりも入居者の皆さんの頑張りで、無事にすごしてきました。グループホーム入居1周年おめでとう！！

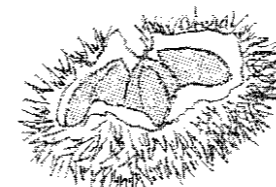
私たち「支える会」は、これからもずっと応援していきますから、新吉田町の暖かいホームの中で、楽しい生活を続けてください。

さて、春から取り組んできたチャリティーコンサートもいよいよ公演の日が迫ってきました。

チケットの方も何とか目処が付いてきました。あとは当日に向けてプログラムの製作や、細かな準備が進められています。

尚、このコンサートの前後10月7日～12日まで、大倉山の駅前レモンロードのギャラリー「かれん」で重度障害者（私たちの支援するメンバー）を紹介する写真パネル展示会を行います。

ぜひ、お誘い合わせの上お出かけください。生き生きとした表情の中に、地域の中でいきる喜びの声を聞き取りいただければ幸いです。



無我夢中の10年

「よつば」にきて10年になる。私には2人の子供がいる。一人は女の子で病院でヘルパーをしている。（定時制高校に行きながら「よつば」であるバイトをしていた）。もう一人は男の子で、足に障害があり、2才半から2年ほど全寮の施設に入所していました。

そんな事もあって娘も私も自分の事のように楽しみながら「よつば」に通っています（所員たちの笑顔が見たくて）。又仲間がふえたり、亡くなったりもしました。そして仲間の気持も色々変わったり・わかったり・して無我夢中の10年でした。これからも通い続けたいと思ひます。

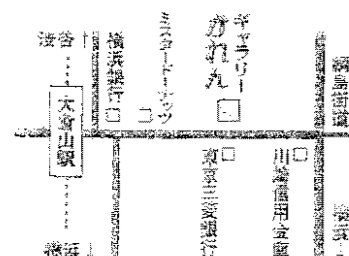
門屋 佳子

日毎に秋らしくなってきた今日この頃です。友子さんは毎日忙しくすごされてるようですね。体調は大丈夫ですか？ TAWAWA 26号の作成大変ですね。けれど友子さんの声を楽しみにしているたくさんのファンが待っています。頑張ってください！ 季節の変わり目です。お体に十分気を付けて風邪をひかないようにネッ☆☆☆

竹生真喜子

写真パネル展示会

一耳を澄ませば
聞こえる
青春のメロディー



京横線大倉山駅下車(特急行不停車)徒歩1分

〒222-0031 横浜市港北区太田町95-2
Tel & Fax 045-543-3577

[会場案内]



めがねの声

障害者のためのパソコン講習に出ました。はじめる前にいくつか不安がありました。自分でもはじめは5日間つづけて講習があるとは思わないで、たぶん週1回づつだと思って申し込んでもらったので、抽選に当たったという通知をうけて毎晩続けて通うことを知ったとき「エー」とびっくり！自分だけでなく家中をまき込んでしまうと思って、うれしい一方で困ったことになったとおもいました。夜の講習だったのでつかれて休んで終りになってしまわないか...。だいいち内容が分かるのだろうか。夜の勉強なので家に帰ってから復習できないので次の日には忘れてしまうのではないかなど...

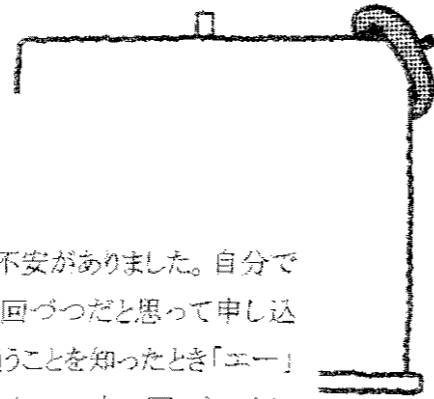
講師と助手の方が何人かこうたいで見てくれました。私は普通のマウスが使えないので「こねこの手」と言う道具を使いますが、これがどんな機械にもつけられるのか、新しいパソコンでも使えるのか、はじめから大そうどうでした。先生たちもはじめて見たのでちょっととまどいました。

普通のイスでは低すぎて首がうえをむいたままになります。回転イスを最高に上げて、さらに座布団をのせてようやく、丁度よくすると足はブラブラしているという状態です。なんだか大さわざでえらそうにしているみたいではずかしかった。

「こねこの手」のせいもあって、時々機械が調子よく動かなくなったりしたのですが「ま、いいか」と言うことで先に進む人たちとは関係なく3人がかりであれこれ言いながらなんとか5日間終わりました。

ずっと桜井さんや青年クラブでいろいろなことを教えていただいていたのですが、順序良く教わってよかったと思います。とにかく体調を崩さないということが、一番の課題でしたが、大丈夫でした。

大原友子



今月のよつばホーム

夏も終わり、肌寒くなってきましたが入居者、職員共に体調を崩すこともなく元気にすごしています。これから寒くなっていくので、今まで以上に健康に気をつけていきたいと思ひます。

先月から新しくアルバイトをすることになった方を紹介します。

8月からよつばホームでバイトをしています、山田奈穂子です。よつばには週1回、バイトに来ています。今は大学3年生で、法政大学の社会福祉学科に通っています。大学では、メディアや国際関係、福祉など幅広く社会について学んでいます。全く福祉について関係がないという訳ではありませんが、実際に現場に立った経験はあまり無く毎回のバイトが刺激的であり、いい勉強にもなります。わからないことや初めてのことが多くありますが、職員の方がいつも丁寧に教えてくれるので仕事にも少しずつ慣れてきました。入居者の方も職員の方もみんなやさしいので、安心して働くことができます。早くもっと皆さんと親しくなれるように頑張っていきたいと思ひます。これからもよろしくお願ひ致します。

他にも新しくアルバイトに入られた方が何名かいます。入居者の方は最初はなかなかおしゃべり出来ずに緊張していましたが、最近はお互いに慣れてきて会話を楽しんでいます。まだ落ち着かない場面もありますが、徐々に落ち着いてくると思ひます。これからも、みなさんが安心して生活ができますようにサポートをしていきたいと考えています。

チャリティーコンサート実行委員会より

今回のチャリティーコンサートも、実行委員会で準備していく形式を取っています。いろいろな活動をしている方、家族会のメンバー、地域の代表の形などで構成していますが、開催までには3回の実行委員会の他、事務局会議も随時開催し効率よく準備をしていきたいと思ひています。

第一回目は、実施要綱の確認、予算の決定、後援者や協賛者の依頼先の検討、チラシの作成、チケットの配分など、基本的なことを協議しました。

第2回目では、それまでの活動の報告をして、準備状況をみんなで理解していきます。同時にチケットの売れ行き具合のチェックをします。また、当日の役割分担や、ボランティアの手配を始めます。

第3回実行委員会は9月30日(月)に予定されています。当日のスケジュールを確認し、スタッフの配置、仕事の確認を行います。気になっているチケットの方も、最終の数字が出てくることでしょう。

あとは10月9日の当日に向け、各担当ごとに細かい準備が進められていきます。

ご入会、ご継続
ありがとうございます

〔賛助会員〕

小泉 寿子

会員 19名

小宮山裕子

賛助会員(個人) 120名

黒沢 千草

賛助会員(団体) 4団体

(平成14年9月20日現在)

〔敬称略〕

